

JOMF 派遣医師便り (2013. 11)

◆シンガポール◆

鍼治療 (Acupuncture treatment) の依存症への応用

シンガポール日本人会クリニック

日暮 浩実

シンガポール厚生省は National Addictions Management Services (NAMS) の一環としてシンガポール国立精神病院(The institute of mental health, IMH) の中にいくつかの依存症に対して鍼治療を行うクリニックを設置しました。これは、まだ、パイロット的なサービスではありますが、この施設は、薬物依存症、アルコール依存症、ギャンブル依存症に鍼治療を公式に提供するシンガポールで最初の施設となりました。

ここでは、通常の西洋医学的治療（薬物治療およびカウンセリング）に加えて、これをオプションとして実施します。治療は1回30分、合計10セッションのコースで、料金は200シンガポールドル（約1万5000円）とのことです。

現在までのところ、こうした依存症に対しはっきりとした大規模な科学的研究成果は発表されていないのですが、本家の中国以外で既存の治療と組み合わせた治療が既に試みられています。

IMHの見解としては、<鍼治療は治療中に認められる離脱症候群や痛み、渴望や不安の軽減に効果がある。現時点で、こうした依存症に対する特効薬や完全な治療はないので、アジアの国のひとつとして、こうした古代からの知恵を適応するのは治療に役立つと考えている>とのことです。

シンガポール厚生省によれば、この3月までの1年間に1419名の様々な依存症患者さんが見出されましたが、この数値は前年比55%増であり、中でもアルコール依存症は最も顕著で75%の増加を示しているとのことです。

実際の責任者の話では、まだ、こうした治療は初期段階であり、患者さんの反応も様々であり、詳しい研究はまだこれからだと言うことです。

依存症に鍼治療を施行することはまだまだ珍しいことでもあるので、今後の経過が興味あるところです。

今回のパイロット的治療は、鍼治療にとっては大きなチャンスであるとともに、大きなチャレンジでもあると言えます。

当地は伝統的に鍼灸治療を含めた中国伝統医療を利用される方が多い（2006年11月の記事を御参照ください）ので、その信頼性を増すことができるような結果ができることを期待したいものです。

○2006年11月の記事（クリックしても開かない場合はURLをコピーして直接ブラウザに貼り付けてください。）

http://www.jomf.or.jp/include/disp_text.html?type=n100&file=2006110101